

## ■ メディタッチ ユーザーインタビュー(福島県 小川医院 今田医師)

### —メディタッチを利用してみて、まずは感想をお聞かせください。

わくわくしますね。思ったほど面倒でなく、楽しく使えるツールです。患者さんへの説明ツールとしてちょっと自慢げに使っています。今後コンテンツがさらに増えていくと、もっと良くなりそうだと感じています。

### —どのようなシーン(具体的な疾患名等)で利用していますか。もしくは利用したいと思っていますか。

糖尿病の説明に使っています。患者さんの病気に対する理解度向上や、治療についての同意・協力が必要な病気の説明には有効だと思いますね。今後、うつでかかる患者さんの問診にメディタッチが使えるようになると、紙で行うより気が重くならないと思います。



### —患者さんの反応はいかがでしょう。

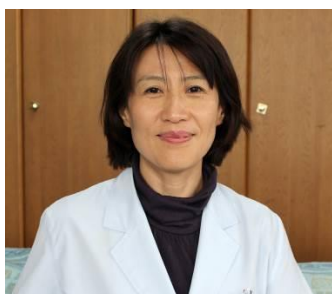
患者さんは珍しがっていますね。口頭のみでの説明より理解してくれている人もいます。

### —メディタッチを使って患者説明をすることで、医療機関側にどのようなメリットがあるでしょうか。

メディタッチを使って診療時に丁寧な説明をしていると、説明の内容を患者さんに印象づけることができると思います。また、紙がいらないこともメリットですね。

### —今後、どのようなコンテンツを増やして欲しいですか。

医療辞典などが入っているといいですね。あまり慣れていない症例の診断基準があれば確かめやすいですし、内科は多様な病気の患者さんが来られますので。また、漢方処方コンテンツがあると不定愁訴の患者さんに有効だと思います。口頭説明だけだときちんと飲んでくれないことが多いのですが、漢方薬の写真が載っている本などを使って説明すると、理解して飲んでもらえて症状が改善されることもありますので。



#### ■ 今田かおる医師 プロフィール

在宅支援診療所 小川医院理事

総合内科医 在宅緩和ケア医

高齢者医療・在宅診療を中心に、原発避難者の支援、医療相談、反原発を理解してもらうための講演会活動も行う。

#### ■ 略歴

昭和 62 年 杏林大学医学部卒業

昭和 62 年 山形県立中央病院 内科、外科、麻酔科

平成 3 年～現在 猪苗代町小川医院 内科

平成 12 年 猪苗代町マリアクリニック院長

平成 16 年 介護老人保健施設「ケアテル猪苗代」立ち上げ

平成 17 年 訪問看護ステーション「敬愛」立ち上げ

平成 18 年 介護老人福祉施設「いなわしろホーム」嘱託医

平成 23 年 3 月 11 日以降 震災避難者等に医療支援